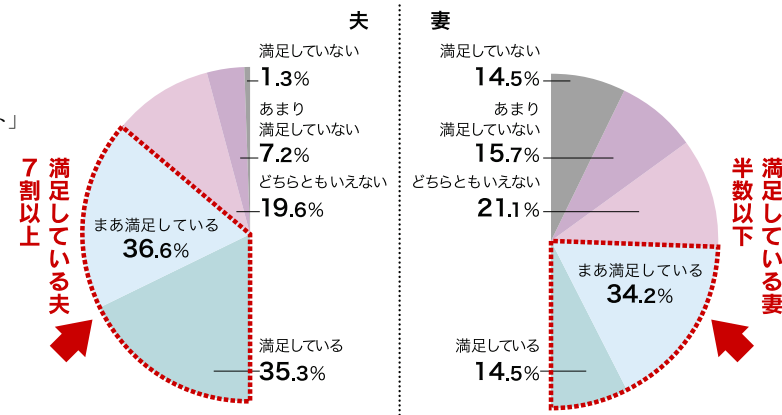


夫婦の家事の分担についての満足度

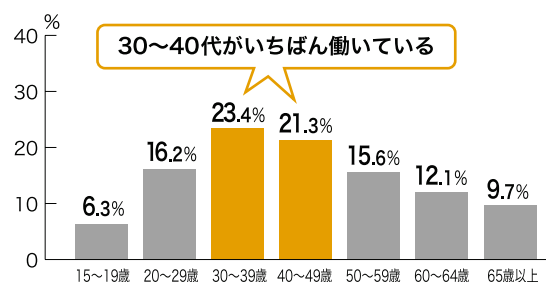
出典:インテージ、ヤフー「30代既婚者への家事の分担に関するアンケート」

少し前の世代とはちがって、30～40代はけっこう夫婦で家事を分担しあっています。しかし、それで妻が満足しているかという、夫の認識とはギャップがあるよう。このままでは夫婦間の危機に発展するかも…?



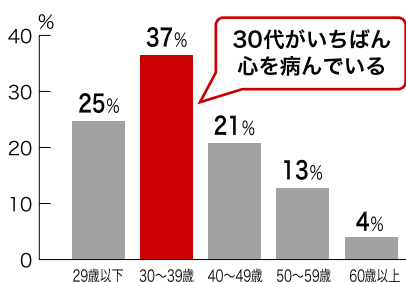
週60時間以上働いている男性の世代別比率

出典:総務省「労働力調査」平成17年平均結果



精神障害等で労災請求した人の世代別比率

出典:厚生労働省「脳・心臓疾患及び精神障害等に係る労災補償状況」平成17年度

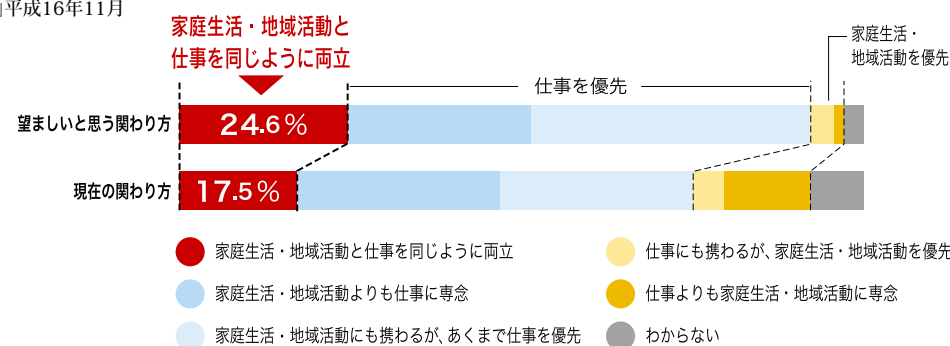


職場で責任が重く、いちばん働いているのが30～40代。4～5人に1人が毎日平均10～12時間以上働き、うつ病など精神に障害がある人も、この世代に集中。知らない間にストレスがたまり、心が枯れているかも…?

仕事と家庭生活・地域活動への関わり方

出典:内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」平成16年11月

全体的に仕事優先志向が強いものの、24.6%の男性が、仕事と家庭生活・地域活動を両立すべきだと思っています。しかし、現実に両立している人は17.5%。あなたの場合は、仕事と私生活のバランスがとれていますか…?



すべての項目でYESと答えた →とびきりデキるオトコ

きっと家庭でも地域でもみんなに頼られる存在でしょう。その生き方を他の人にも伝えてあげてください。

3～4の項目でYESと答えた →ほどこデキるオトコ

家庭にも地域にも積極的に参加していますね。このままの方向で、さらにオトコに磨きをかけましょう。

1～2の項目でYESと答えた →そこそこデキるオトコ

家庭や地域に参加したい気持ちはあっても、実現は難しいようです。今の働き方に問題があるかもしれません。

すべての項目でNOと答えた →まだまだデキるオトコ

仕事中心で、家庭や地域に関心が向いていないようです。視点を変えれば、新しい生き方が見えてきますよ。

あなたの場合は…? 生き方の見直しが必要かもしれない。

新しいオトコの生き方を知る いまどきキーワード

いくつ
知って
いますか?

①ちょいモテ男パパ

読売広告社が2006年3月に実施した「イマドキの父親像アンケート」の結果、新しい時代の父親像として浮上した層。“父親”であると同時に“カッコいい男”としての自己実現を追求し、ファッションへのこだわりが強く、子どもには甘い。

②父子手帳

父親になる男性を対象に、妊娠中の妻への配慮や子どもへの接し方を説明した、母子手帳ならぬ“父子手帳”を配布する自治体が増えている。県内では、栗東市が「お父さんになるかたへ」というタイトルで約10年前から配布している。

③兼業主夫

「兼業主婦」という言葉は以前からあったが、最近、広がってきたのが「兼業主夫」。仕事をしながら家事もこなす夫のことで、インターネットのブログでそう自称する人も増え、男性の家事参加があたりまえになりつつあることがうかがわれる。

④お父さん・お母さん休暇

広島県三次市が2006年4月に新設した子育て特別休暇。子どもが生まれた職員に、男女を問わず最長2カ月の子育て休暇取得を義務づける。義務化することで、男性も育児のために休むのがあたりまえの職場風土を作るのがねらい。

⑤ダウンシフター

減速生活者。ハーバード大学教授のジュリエット・B.ショアが著書『浪費するアメリカ人』の中で、働きすぎと浪費の悪循環から抜け出し、所得よりも自由時間を、出世よりも生活の質や自己実現を追求する生き方を選ぶ人たちを呼んだ言葉。

⑥ワーク・ライフ・インテグレーション

職業生活(ワーク)と家庭生活(ライフ)を相反するものとして両立させようという「ワーク・ライフ・バランス」から一歩進んで、職業生活と家庭生活は一人の人間の中で複雑に重なり合うものとして、統合させていこうという考え方。



〒523-0891 滋賀県近江八幡市鷹飼町 80-4
TEL.0748-37-3751 FAX.0748-37-5770
E-mail g-net@mx.biwa.ne.jp
ホームページ <http://www.pref.shiga.jp/c/g-net/>

「G-NETしが」とは…滋賀県立男女共同参画センターの愛称で、「Gender-networkしが」の略。ジェンダー問題を見据えて男女共同参画のネットワークを広げていこうという思いをこめたものです。

【開所時間】午前9時～午後9時 【休館日】月曜日・祝休日の翌日・年末年始・施設点検日

企画・編集／株式会社高速オフセット 100 古紙配合率100%再生紙を使用しています



これからの オトコの生き方。

働きざかりの男性のためのパワーアップ作戦

仕事もデキる。家事も育児もデキる。
ボランティアもデキる。
自然体で全部楽しむのが、
これからの
オトコの生き方。



滋賀県

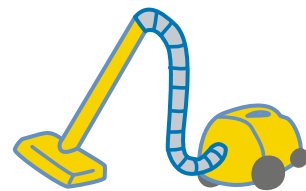
あなたは できる オトコか？

脂がのりきって、毎日が忙しく
充実している30～40代。でも、
この年代は人生のターニング
ポイントでもあります。はたし
て将来に不安はないのか？ 生き
方を見つめ直してみませんか。

データでみる働きざかりの
オトコの現状

家事の分担に妻は
満足しているか？

3割の妻が満足していない



働きすぎて自分を
失っていないか？

30代がいちばん心にストレス



仕事と家庭、地域が
両立できているか？

82.5%が両立できていない



ここで自分について
チェックしてみよう。

質問1: 仕事関係や学生時代以外での友人が5人以上いますか？

質問2: 妻や子どもが最近、何に興味を持っているか知っていますか？

質問3: レシピを見ずに作れる料理が5種類以上ありますか？

質問4: 今、地域で問題になっていることをひとつ以上挙げられますか？

質問5: プライベートで夢中になれる趣味や楽しみを持っていますか？

あなたは、これからの新しいオトコの生き方をどこまで
実現できているでしょうか？ 次の質問に答えて、できる
オトコ度をチェックしてみてください。

仕事も家庭も地域も、よくばりに楽しむ。

できるオトコになるためのパワーアップ作戦。

作戦2 二足のわらじをはく
仕事以外での自分の豊かな可能性を
発見して、充実した人生をつくろう。



井上雅弘さんの場合 瀬田スポーツ少年団指導者(大津市)
企業人のかたわらで少年野球団のコーチ

「最初はボールの持ち方も知らなかった子が、試合に出ていい球を投げ、バンバン打てるようになっていく。子どもたちの成長を見られるのが楽しみです」。関西電力(株)滋賀営業所に勤めるかたわら、休日の土曜・日曜に、ボランティアで地域の少年野球チームのコーチを務める井上さん。「仕事で疲れている日は正直、休みたいと思う時も(笑)。でも、子どもたちと一日過ごしていると、身体はしんどくても、どこかでいやされるんです」。以前は家と会社の往復だけの毎日でしたが、今の活動を始めてから、

あなたができることは？

たとえば…

- ・昔やっていた趣味を再開する
- ・ボランティア体験講座に参加する
- ・企業ぐるみで地域貢献に取り組む

地域に顔なじみの子どもが増えてきました。「チームを卒業した後も、道で会ったらあいさつしてくれるのがうれしい。自分の世界が広がりました」。

作戦3 仲間をつくる
利害や打算を超えて気さくにつきあえる
人間関係を、どんどん広げよう。

野口 浩さんの場合 メゾン◎おやじの会(守山市)

趣味で楽しく交流しながら地域に参加

高層マンション群「グランドメゾン守山」に住む男性たちが、「住民の男性なら誰でも歓迎」と「メゾン◎おやじの会」を結成。マンション内で活動する子ども会や老人会などと同じように、男性同士も趣味や親睦会を通じて気軽に交流を深めよう!とメンバーを募ったのが始まりです。野口さんは、ソフトボールチームに参加しています。「毎週日曜の練習が楽しい。年齢も職業も違ういろんな人とのつきあいが広がっています」。平日は大阪市内の会社に勤務し、夜10時以降の帰宅がほとんど。「普段は近所の人と顔を合わすことも少ないので、地域とのつながりができてうれしいですね。顔見知りが増え、自治会活動にも参加しやすくなりました」。

あなたができることは？

たとえば…

- ・隣近所の人とあいさつを交わす
- ・地域の祭りやイベントに出かける
- ・地元の商店街で買い物をする



ソフトボールやロックバンドの趣味で交流している“おやじ”たち。右端が野口さん

作戦1 家族と向き合う
生涯の宝物である妻や子どもと、
もう一度きちんと向き合ってみよう。



中村時明さんの場合 湖北おやじクラブ(湖北町)

自分の特技を発揮して子どもとふれあう

小学生の子どもを持つ父親たちが中心になってつながり、家庭や地域でもっと役割を発揮しようと活動している「湖北おやじクラブ」。副部長の中村さんは、小学生と中学生の二児の父親です。「これまで自分なりに子どもと向き合ってきたつもりだけど、気がついたら関係がよそよそしくなっていて…。どう接していけばいいのか、悩みは尽きません」。そこで考えたひとつの試みが、自分の子ども時代に夢中になっていたゴム動力模型飛行機を作って親子でふれあうイベント。現代では新鮮な遊びに、子どもの目が輝きました。「これからもみんなの知恵や特技を発揮して、お父さんの存在感を示したい。“おやじ”と呼ばれて気軽に話せる父親になりたいんです」。

あなたができることは？

たとえば…

- ・週1回は妻の話をじっくり聴く
- ・週末は子どもといっしょに遊ぶ
- ・子育てのために休暇をとる

湖北おやじクラブのホームページ
<http://www.geocities.jp/biwakooyajiclub/>